



Japan Foundation for
Regional Art-Activities

地域創造レター

12月号—No.343

2023.11.25

(毎月1回25日発行)

News Letter to Arts Crew



リーデンローズ・クリスマス・ガラ・コンサート(広島県福山市)

●目次 / contents

クリスマス&年越し・新春企画特集

公演カレンダー.....2

今月の情報.....6

地域通信

財団からのお知らせ..... 10

「公共ホール現代ダンス活性化事業」令和7・8年度登録アーティスト募集／令和6年度ステージラボ開催地のお知らせ／「特別寄稿 ビューポイント view point」について／令和5年度「公共ホール音楽活性化事業(おんかつ)」スタート／令和5年度市町村長特別セミナー「地域経営塾」終了報告

今月のレポート..... 12

岩手県 岩手県内5館・1団体による連携事業
「Music Program IWATE 星巡りプロジェクト」



クリスマス&年越し・新春企画特集



恒例の「クリスマス&年越し・新春企画特集」の季節となりました。定番のプログラムからユニークな企画まで、各地の取り組みを一挙にご紹介します。

☑は会場、📍は問い合わせ先です(👉は地域創造助成事業)。

写真

左上: アブリコ・クリスマス・フェスティバル 2021年度開催の様子(東京都大田区)

右上: 大藏流山本会狂言桐生公演(群馬県桐生市)

左下: TO-BUNクリスマスコンサート(千葉県東金市)

右下: 千支展(浜田市立石正美術館)

クリスマス企画

●札幌市 12月23日

Kitaraのクリスマス～道義のラストクリスマス～

2024年12月にて指揮活動の引退を公表している井上道義を指揮者に迎え、札幌交響楽団の演奏とともにクリスマスを彩る演奏会。演奏プログラムのバレエ音楽『火の鳥』では、現代ダンスシーンを牽引する振付家・ダンサーの森山開次がソロ出演し、舞踊付きで上演。この日限りの豪華共演で迫力のステージをお届けする。

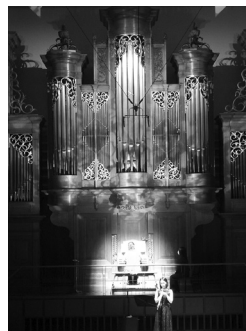
☑📍札幌コンサートホールKitara
Tel. 011-520-2000

●岩手県盛岡市 12月23日

パイプオルガン プロムナードコンサート92nd クリスマス・チャリティ

気軽にパイプオルガンの音色に親んでもらう機会として定期的に開催している「プロムナードコンサート」。毎年12月はクリスマスチャリティコンサートとして開催している。今年は盛岡市民文化ホールパイプオルガン設置25周年を記念して、地元岩手ゆかりのアーティストである高岩遼(ヴォーカル)、木戸口夏海(クラリネット)を招いて特別バージョンでお贈りする。

☑📍盛岡市民文化ホール
Tel. 019-621-5100



過去のコンサートの様子

●千葉県市川市 12月16日

歌で楽しむクリスマス～パッパからラスト・クリスマス～

市川市文化振興財団が実施している「新人演奏家コンクール」受賞者たちとの協働事業として行うクリスマスコンサート。オペラや讃美歌だけではなく『クリスマスキャロル』や『恋人たちのクリスマス』などの聞き馴染みのあるクリスマスソングをスペシャルメドレーにアレンジして、チェンバロの伴奏でお届けする。

☑📍市川市文化会館
📍市川市文化振興財団
Tel. 047-379-5111

●千葉県東金市 12月24日

東金文化会館四季彩コンサート—冬— TO-BUNクリスマスコンサート

TO-BUNクリスマス合唱団やキッズ合唱団など、市民の公募により結成された4つの合唱団と、地元高校声楽部や全国大会常連高校の合唱団など、多彩なグループが出演するクリスマスコンサート。ゲストとして迎える歌手の堀井ローレンによるステージもあり、午後のひとときに多彩なコーラスをお届けする。

☑📍東金文化会館
Tel. 0475-55-6211

●東京都足立区 12月16日

ギャラクシティ クリスマスコンサート2023 オーケストラが読み聴かせる物語

フルオーケストラにナレーターによる読み語りも加わった豪華なクリスマスコンサート。新進気鋭の若手演奏家で結成されたオーケストラ「おーけすとら・びとれ座」と足立区在住のピアニスト・杉本直登が、『オーケストラストーリーズ』となりのトトロ』やクリスマス定番曲のチャイコフスキー『組曲くるみ割り人形』など、子どもにも馴染み深い楽曲を演奏する。

☑📍ギャラクシティ 西新井文化ホール Tel. 03-5242-8161

●東京都墨田区 12月10日

パイプオルガン・クリスマス・コンサート2023

「0歳からのオルガン・コンサート」と「しっかりじっくりオルガン・コンサート」の2つのコンサートを開催。演奏中の手元や足元を舞台上のスクリーンに映し出し、普段は見られない演奏の様子が楽しめる。大平健介(オルガン)と加来徹(バリトン)が出演し、クリスマスにぴったりの名曲を披露する。

☎ すみだトリフォニーホール
 ㊦ 墨田区文化振興財団
 Tel. 03-5608-5404

● 東京都大田区 12月16日
アプリコ・クリスマス・フェスティバル2023「くろみ割り人形とクララのクリスマス」

シアター オーケストラ トウキョウの生演奏をバックに、バレリーナが舞うクリスマスコンサート。バレリーナ芸人として活躍中の松浦景子がナビゲーターとして、わかりやすく演目を解説。第1部はクリスマスに相応しい名曲に加え、『コッペリア』や『眠れる森の美女』などを上演。第2部はNBAバレエ団のダンサーが次々に登場する『くろみ割り人形』の特別版。

☎ 大田区民ホール・アプリコ
 ㊦ 大田区文化振興協会
 Tel. 03-6429-9851

● 横浜市 12月20日
馬車道 陽だまりコンサートVol.45 ~初めてのクリスマスに寄せて~

「馬車道陽だまりコンサート」は、客席と一緒に歌うコーナーもある関内ホールで人気のコンサートシリーズ。45回目の今回は、初めての12月開催として、冬を感じるクラシックの名曲やクリスマスメドレーをフルートやヴァイオリン、ピアノの演奏とソプラノの歌声でお届け。音楽で心温まる時間を客席と共に楽しめる。

☎ 関内ホール
 Tel. 045-662-1221

● 石川県金沢市 12月16日
OEKファンタスティック・オーケストラコンサート

日本を代表するジャズ・ヴォーカリストであり、フリーゲルホーン・プレーヤーのTOKUとオーケストラ・アンサンブル金沢(OEK)によるクリスマス公演。指揮・作編曲の渡辺俊幸のほか、ピアノ・ギター・ベース・ドラムにそれぞれゲストを迎え、クリスマスムードを盛り上げるスタイリッシュでハートウォーミングな音色をお届けする。

☎ 石川県立音楽堂
 Tel. 076-232-0171

● 長野県軽井沢町 12月3日
軽井沢少年少女合唱団&軽井沢ファミリーオーケストラ クリスマスコンサート

軽井沢町や近隣地域の5歳から高校生までの少年少女合唱団と小学3年生以上で構成するファミリーオーケストラによる恒例のコンサート。クリスマスソングやドヴォルザークの交響曲第9番『新世界より』などを披露。入場無料で未就学児も入場でき、公演前には弦楽器体験やプレコンサートも実施。

☎ 軽井沢大賀ホール
 Tel. 0267-42-0055



2022年合同演奏の様子

● 長野県松本市 12月17日
まつぶんクリスマスフェスティバル

1994年に発足したキッセイ文化ホールを拠点に活動するSK松本ジュニア合唱団によるコンサートのほか、「金子しんぺいパ

ントタイム SHOW]、「♪聴いて・歌って・踊ろう♪ファミリーで楽しむクリスマスコンサート」、地域映画『まつもと日和』上映会と三好大輔監督によるトークなど、さまざまなプログラムを家族で楽しめる。

☎ キッセイ文化ホール
 Tel. 0263-34-7100

● 静岡市 12月23日
オルガン¥500コンサート クリスマス★コンサート 中田恵子

春・夏・冬でシリーズ化している「オルガン¥500コンサート」のクリスマスバージョン。オルガン奏者の中田恵子により、『目覚めよと呼ぶ声が聞こえ BWV645』や『きよしの夜』など、クリスマスに合わせた楽曲を演奏する。パイプオルガン特有の豊かな音色を感じられる癒しのクリスマスコンサート。

☎ 静岡音楽館AOI
 Tel. 054-251-2200

● 静岡県菊川市 12月17日
第18回 アエルふれあい冬のお月見コンサート クリスマスVer.

第18回となる恒例のお月見コンサートを今年はクリスマスシーズンに実施。出演者は一般市民で、菊川市長が参加するバンドのほか、合唱団、ダンスグループ等による、クリスマスにちなんだ楽曲や平和を願った楽曲を上演する。また、施設利用者による展示、菊川市観光協会や社会福祉法人草笛の会によるシュトーレンの販売も行われる。

☎ 菊川文化会館アエル
 Tel. 0537-35-1515



昨年の様子

● 名古屋市 12月15日、16日
クリスマスはオルガンだ! 2023 天使の調べ オーボエとともに

2002年から続く、今年で記念すべき20回目を迎えるクリスマスのオルガンコンサート。今回は新山恵理(パイプオルガン)、杉本真木(オーボエ)を迎え、クリスマスにちなんだ楽曲をお贈りする。また、演奏している手元や足元の様子を大型スクリーンに投影するなど工夫を凝らした演出もあり、臨場感のある演奏を楽しむことができる。

☎ 愛知県芸術劇場コンサートホール
 ㊦ 愛知県文化振興事業団
 Tel. 052-211-7552

● 堺市 12月25日
音楽のあるひとときVol.14 クリスマスの贈り物 happy holidays

大阪交響楽団メンバーによるアンサンブルが、館内のさまざまな場所を会場に、クラシック音楽に気軽に楽しめるコンサートをお届けする「音楽のあるひととき」。14回目の今回は、クリスマスの贈り物と題し、ヴィブラフォンとハープのデュオによる、チャイコフスキーの『くろみ割り人形』より「花のワルツ」やドビュッシーの『垂緑色の髪の乙女』など、クリスマスならではのプログラムを上演する。

☎ フェニーチェ堺
 Tel. 072-223-1000

● 大阪府河内長野市 12月23日
ラブリールホールクリスマスイルミネーション2023関連企画

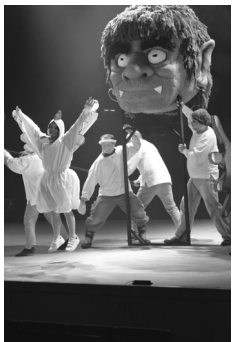
「Xmasイルミネーションライブ」毎年好評を博している、ラブリールホール外壁や街路樹を彩るクリスマスイルミネーション。今回は関連企画として、イルミネーションとともにアコーディオンとヴァイオリン演奏をお届けするクリ

マスライブを開催する。大ホールのホワイエを会場に、温かな室内から演奏とイルミネーションを同時に楽しむことができる。
☎️河内長野市立文化会館ラブラーホール Tel. 0721-56-6100

●兵庫県多可町 12月17日

演劇セミナー発表公演 『サンタクロースの弟子』

平成8年から続くベルディーホール演劇セミナーの発表公演。「舞台演劇を鑑賞するだけでなく、地域の人々にもステージに立って表現する魅力と楽しさを体験してほしい」という思いから、公募で集まったメンバーやダンスグループが約2カ月間で作品をつくり、ベルディーホールの舞台上で披露する。音楽は町の楽団の生演奏と見どころが多い。
☎️多可町文化会館ベルディーホール Tel. 0795-32-1300



演劇セミナー発表公演「うそつきジャックといじわるな豆の木」作・演出：大塚雅史（2020年11月）

●兵庫県丹波市 12月23日

スーパーキッズ・オーケストラ クリスマスコンサート

主催公演としては今年初。兵庫県立芸術文化センターを拠点に活動する、全国から選抜された小学生から高校生までで構成される弦楽器オーケストラ、スーパーキッズ・オーケストラ(SKO)のコンサート。ジュニア演奏家によるプロの演奏を高校生以下は無料とし、子どもたちのためにク

リスマスにお届けする。

☎️丹波の森公苑ホール
☎️(公財)兵庫丹波の森協会 丹波の森公苑 Tel. 0795-72-5170

●鳥根県益田市 12月23日

MUSEUM×THEATER ミュージアムvol.21「朗読の夕べ 森鷗外のクリスマス」

グラントワ内の石見美術館といわみ芸術劇場がタッグを組んでお送りする企画。今回は、鳥根県出身である森鷗外の作品を、背景の解説とともに朗読する。朗読は佐々木望(声優)、文学解説を美留町義雄(大東文化大学教授)が担当。第1部では代表作『舞姫』を読み解き、第2部では日本でいち早く家族でクリスマスを祝った鷗外の素顔を紹介。また、小中学生による合唱にのせて、クリスマスにちなんだ文学作品の朗読も行う。
☎️鳥根県芸術文化センター「グラントワ」 Tel. 0856-31-1860

●広島県福山市 12月17日

リーデンローズ・クリスマス・ガラ・コンサート

プロの演奏家とリーデンローズ登録アーティストによる、毎年恒例のクリスマスコンサート。今回は、津軽三味線奏者・民謡歌手の中村滉己をゲストに迎え、登録アーティスト10組と共に公演をお届けする。津軽三味線とピアノのコラボなども予定され、和洋が合わさる珍しい組み合わせで会場を盛り上げる。
☎️ふくやま芸術文化ホール リーデンローズ Tel. 084-928-1800

●北九州市 12月15日

クリスマスパイプオルガンコンサート

パイプオルガンとトランペット、絵本の読み聞かせによるクリスマスコンサート。『きよしこのよる』『もろびとこぞりて』『あわて

んぼうのサンタクロース』、絵本『てぶくろを買いに』など未就学児も一緒に楽しめる内容となっている。今回は稲穂美奈子(オルガン)、下条啓介(トランペット)、北野純子(読み聞かせ)の3人でお届けする。

☎️北九州ソレイユホール
Tel. 093-592-5405

●長崎県佐世保市 12月2日

～大人も子どもも楽しめるクリスマス の贈り物～ 上原彩子の くるみ割り人形

ピアニスト・上原彩子の代名詞とも言えるチャイコフスキーの作品から、バレエ音楽『くるみ割り人形』を上演。クリスマスを彩る名作を、下田冬子のカラフルで可愛い絵を背景に映し出しつつ、上原彩子によるピアノ演奏とお話で大人も子どもも楽しめる公演となっている。1台のピアノから奏でられる多彩でダイナミックな音楽をお届けする。

☎️アルカスSASEBO
Tel. 0956-42-1111

年越し・新春企画

●宮城県加美町 1月21日

パッハホールニューイヤーコンサート2024

2014年に設立された市民オーケストラ「パッハホール管弦楽団」による恒例の新春コンサート。地元大崎市出身のトロンボーン奏者・金澤茂が音楽監督を務め、小学生から70歳代まで幅広い年代の52人のメンバーが活動している。ロッシェニや伊福部昭、久石譲などの名曲を演奏。
☎️中野田パッハホール
Tel. 0229-63-7367

●栃木県大田原市 1月8日

那須野が原ハーモニーホール・ ニューイヤーコンサート オペラ「魔笛」ハイライト

お馴染みのオペラの名曲を奏でる恒例の新春コンサート。毎年、国内外の第一線で活躍する栃木ゆかりの声楽家が集結。今年には上田純子(ソプラノ)、高田正人(テノール)ら10名のソリストが、モーツァルト『魔笛』のハイライトを歌い上げる。

☎️那須野が原ハーモニーホール Tel. 0287-24-0880

●群馬県高崎市 1月1日

第34回高崎元旦コンサート

高崎芸術劇場を拠点とする群馬交響楽団と劇場芸術監督・大友直人の指揮による元旦恒例のコンサート。今回は高野百合絵(ソプラノ)、阪田知樹(ピアノ)、岡本誠司(ヴァイオリン)の進境著しい3人の若手アーティストが群響と共演。『こうもり』『カルメン』などオペラの名曲やサラサーテ『ツィゴイネルワイゼン』、映画『ハリリー・ポッターと賢者の石』のサウンドトラックなどバラエティに富んだプログラムを奏でる。

☎️高崎芸術劇場
Tel. 027-321-7300

●群馬県桐生市 1月13日

大蔵流山本会狂言桐生公演 新年は狂言から

人間国宝・山本東次郎率いる大蔵流山本会による恒例の狂言会。今年度は新年の開催ということで、お正月に相応しい『餅酒(もちさけ)』『音曲聲(おんぎょくむこ)』の2演目を東次郎や金子直樹(能楽評論家)の解説を交えながら上演する。

☎️美喜仁桐生文化会館
桐生市スポーツ文化事業団
Tel. 0277-22-9999

●埼玉県川口市 1月20日

J-TRAD Ensemble MAHORIBA Concert ～春海の頌歌～

2020年に結成された三味線奏

者・本條秀慈郎率いる「J-TRAD Ensemble MAHOROBA」による新春コンサート。三味線や箏、尺八、囃子のアンサンブルで、独自にアレンジされたスメタナ『モルダウ』、一柳慧『ピアノ・メディア』、宮城道雄『春の海』、坂本龍一『東風(Tong Poo)』などの名曲を奏でる。

☎️ 川口総合文化センター・リリア Tel. 048-258-2000

● 東京都豊島区 1月6日、7日
豊島区吹奏楽団&豊島区管弦楽団 ニューイヤーコンサート2024

2つの区民楽団による恒例のコンサート。それぞれが新春を意識した独自のプログラムで日頃の成果を披露する。吹奏楽団(6日)は「日本のテーマパークを彩る音楽たち」と題して、東京ディズニーリゾートとユニバーサル・スタジオ・ジャパン(USJ)にちなんだ曲をアレンジして演奏。管弦楽団(7日)はシュトラウスのポルカや『ハリー・ポッター』のサウンドトラックなどを演奏する。

☎️ 豊島区立芸術文化劇場
<東京建物Brillia HALL>
☎️ としま未来文化財団
Tel. 03-3590-7118

● 横浜市 12月29日
ファンタスティック・ガラコンサート2023

豪華なアーティストと神奈川フィルハーモニー管弦楽団の共演で1年を締めくくる年末恒例のスペシャルコンサート。指揮は三ツ橋敬子。2008年から出演し続け、コンサートの顔ともなっている世界的なバレエダンサー・上野水香は、恒例ともなった神奈川フィル首席ソロ・コンサートマスター・石田泰尚のヴァイオリン独奏で踊るコーナーで『白鳥の湖』のアダージョ、神奈川フィルとの共演では黒鳥のパ・ド・ト

ロワを披露する。
☎️ 神奈川県民ホール
Tel. 045-662-5901(代表)



「ファンタスティック・ガラコンサート2022」
(上野水香) ©Kiyonori Hasegawa

● 新潟市 12月31日
りゅーとびあジルベスター・コンサート2023

りゅーとびあ開館25周年記念事業を締めくくる、7年ぶりに開催される大晦日の特別コンサート。原田慶太楼の指揮で、東京交響楽団、2022年のロニエティボー国際音楽コンクールで優勝したピアニスト・亀井聖矢ら豪華なメンバーが集結。『ウエストサイド物語』などクラシックファンでなくとも馴染みの名曲が盛りだくさんのプログラムで、『ボレロ』ではNoism Company Niigataが共演。

☎️ りゅーとびあ新潟市民芸術文化会館 Tel. 025-224-5521

● 滋賀県大津市 12月31日
びわ湖ホールジルヴェスター・コンサート2023

大阪交響楽団の演奏とクラシック愛好家で知られる桂米團治の進行による大晦日恒例のコンサート。今年は指揮にキンボー・イシイ、ゲストに福間光太郎(ピアノ)、砂川涼子(ソプラノ)を迎え、ホール専属オペラ歌手集団「びわ湖ホール声楽アンサンブル」、一般公募によるジルヴェスター合唱団&ファンファーレ隊も交えて華やかなステージを彩る。

☎️ 滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール Tel. 077-523-7133

● 兵庫県西宮市 1月3日
新春・顔見世コンサート

2005年の開館以来実施している「ワンコイン・コンサート」は平日のお昼時を中心に、関西ゆかりの若手音楽家の出演で好評を博している。2020年のお正月からは、芸術文化センターのコンサートはじめてとして、次年度の出演予定者が一堂に会するリレー形式のお披露目演奏会を開催。今回は9組の演奏とトークで賑々しく新年の幕開けを飾る。

☎️ 兵庫県立芸術文化センター
Tel. 0798-68-0223

● 島根県浜田市 1月4日~14日
干支展—2024辰—

2018年から開催している、干支にちなんだお正月のギャラリー展。24年の干支「辰」にちなんだ個人所蔵の美術コレクションのほか、絵画や彫刻、手芸などの自身が創作した作品を広く募集し、一堂に展示する。また1月6日には、出品作家によるワークショップ「土人形絵付け体験」も開催。

☎️ 浜田市立石正美術館
Tel. 0855-32-4388

● 岡山市 1月21日
岡山フィルハーモニック管弦楽団
ニューイヤーコンサート2024

岡山シンフォニーホールを拠点に活動している岡山フィルハーモニック管弦楽団恒例の新春コンサート。今回は2022年まで9年間、首席指揮者を務めたオーボエ奏者ハンスイェルク・シェレンベルガーが名誉指揮者として再び岡山フィルと共演。ラヴェルやモーツァルトの名曲で新年の幕開けを告げる。

☎️ 岡山シンフォニーホール
Tel. 086-224-1950

● 広島県廿日市市 1月13日
はつかいちニューイヤー・ガラ・コンサート2024

2020年4月に結成されたホール所属のプロアンサンブル「はつかいち室内合奏団「SA・KU・RA」(さくら)」による新春コンサート。今回は、コロナ禍で急遽中止となり、無観客で演奏(収録されDVDで販売)された2021年のプログラムを踏襲し、モーツァルトを特集。アリアや重唱、フルオーケストラ演奏などさまざまな角度からモーツァルトが作曲したオペラの魅力に迫る。

☎️ はつかいち文化ホールウッドワンさくらびあ
☎️ 廿日市市芸術文化振興事業団
Tel. 0829-20-0111



昨年のガラ・コンサート

● 山口県防府市 1月5日~8日
第23回防府音楽祭〈ほうふニューイヤーコンサート2024〉

防府市出身のチェリスト・田中雅弘を音楽監督に迎え、2002年に誕生した音楽祭。国内外で活躍中のアーティストが集結した特別オーケストラ・防府音楽祭管弦楽団によるファイナルコンサートのほか、市議会棟議場などでの「オープニング街角コンサート」、参加アーティストらによる管打楽器クリニックなど、市内各所でさまざまなプログラムが展開される。

☎️ 防府市地域交流センター
アスピラートほか
☎️ 防府市文化振興財団
Tel. 0835-26-5151

地域通信

●データの見方

情報は地域ブロック別に、開催地の北から順に掲載してあります。●で表示してあるのは開催地です。📍マークが付いている事業は地域創造の助成事業です。ラインの下は、事業運営主体、住所、電話番号、担当者名の順に記載してあります。色帯部分が事業名で、以下、内容を紹介しています。

●地域ブロック

[北海道・東北] 北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島

[関東] 茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川

[北陸・中部] 新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、静岡、愛知

[近畿] 三重、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山

[中国・四国] 鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知

[九州・沖縄] 福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

●情報提供先

ファックス、電話、e-mailでお願いします。
Fax. 03-5573-4060 Tel. 03-5573-4093
letter@jafra.or.jp
地域創造情報担当 林・管藤

●2024年2月号情報締切

2023年12月20日(水)

●2024年2月号掲載対象情報

2024年2月～4月に開催もしくは募集されるもの

北海道・東北

●北海道小樽市

市立小樽美術館

〒047-0031 小樽市色内1-9-5

Tel. 0134-34-0035 星田七重

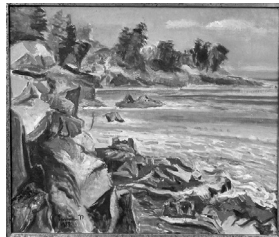
https://www.city.otaru.lg.jp/categories/bunya/shisetsu/bunka_kanko/bijyutsukan/

中村善策と「加賀の北前船主・西谷家」

加賀の北前船主・西谷家5代目の西谷庄八とその子息正治は、小樽を拠点にさまざまな事業を展開する傍ら、風景画で知られる中村善策(1901～83)をはじめ若い芸術家のパトロンとして惜しみない支援を行った。中村没後40年を記念した本展では、特別陳列として今回初公開となる西谷家の女性たちの装身具を展覧するとともに、中村ら西谷家が支援した芸術家たちと西谷家との交流を絵画、彫刻、書簡等で紹介する。

[日程] 10月21日～12月28日

[会場] 市立小樽美術館



中村善策 油彩画《泉浜潮吹》(1939年)

●宮城県大崎市

大崎市民ギャラリー 緒絶の館

〒989-6154 大崎市古川三日町1-1-1

Tel. 0229-21-1466 阿部陽子

<https://www.city.osaki.miyagi.jp/shisei/index.html>

japan/漆の表現展

大崎市を代表する工芸のひとつであり、生活に根づいている漆の展覧会。海外では「japan」と呼ばれ、日本を代表する素材・技術である漆の歴史的背景や

現在の表現の多様性を、古民具や伝統工芸品、新たな技法による美術品や家具などを展示して紹介することで、奥深い漆の魅力を再発見することができる。乾漆シートでアクセサリーをつくるワークショップも開催。

[日程] 12月6日～12月17日

[会場] 大崎市民ギャラリー 緒絶の館

●福島県郡山市

郡山市立美術館

〒963-0666 郡山市安原町字大谷地130-2

Tel. 024-956-2200 田中有沙子

<https://www.city.koriyama.lg.jp/site/artmuseum/>

酒と醸す美術 美酒と美器への憧れ

美術館や博物館、酒処福島の酒蔵などに伝来する所蔵品など、人の営みの中での酒の位置づけが窺える古今東西の酒器や、酒販に欠かせないポスターなどのグラフィック作品など多岐に展示。普段は見ることができない品々と共に、人々が酒とともに築いてきた歴史の一端を振り返る。

[日程] 11月3日～12月24日

[会場] 郡山市立美術館

関東

●茨城県水戸市

水戸市芸術振興財団

〒310-0063 水戸市五軒町1-6-8

Tel. 029-227-8123 高比良理恵

<https://www.arttowermito.or.jp/>

ミュージカル水戸黄門

—ヤング光圀、開眼の旅—

「茨城の魅力は若者だ」という視点で、ジャンルの枠を飛び越えて作品を創作、茨城県の魅力を発信する企画として2014年にスタートした「新・未来サポート」事業。令和3年から「目指せミュージカル水戸黄門?」と題して、県内で活躍する若手アー

ティストと共に3作品を創作してきた。3年目となる今回、これまでの力を結集したオリジナル作品『ミュージカル水戸黄門』を上演する。

[日程] 12月21日～24日

[会場] 水戸芸術館ACM劇場



『目指せミュージカル水戸黄門?～光圀青春篇』(2022年9月) 撮影: 刑部アツシ

●栃木県足利市

足利市立美術館

〒326-0814 足利市通2-14-7

Tel. 0284-43-3131 江尻潔

<http://www.watv.ne.jp/ashi-bi/>

「希望」をめぐる4つの個展

足利市立美術館につながるのがある4名の作家(遠藤昭、貝野澤章、下川勝、山口泉)の個展を同時開催。地震や豪雨、コロナ禍、戦争の危機など大きな不安の立ち込める状況で、いかにして自身を保ち、希望を抱くことができるか。国家や社会の矛盾に鋭い視線を投げかけてきた4名の作家たちが、この時代をいかにとらえ、希望を紡いだのか、それぞれの作品からアプローチする。

[日程] 10月28日～12月24日

[会場] 足利市立美術館

●群馬県高崎市

群馬県立近代美術館

〒370-1293 高崎市綿貫町

992-1 群馬の森公園内

Tel. 027-346-5560 田中龍也

<https://mmag.pref.gunma.jp/>

特別展示

「鈴木ヒラク 今日の発掘」

平面・彫刻・映像・パフォーマンス等によりドローイングの概念を拡張する制作活動を展開す

▼ 今月の情報

アーツセンター、アーツクルーから寄せられた情報を毎月掲載します

る鈴木ヒラクの展覧会。最新シリーズ《隕石が書く》(2023年) 40点による大規模なインスタレーションと、2018~21年の各シリーズ作品、現地制作される壁画などを組み合わせた、鈴木にとって過去最大規模の個展。期間中は鈴木によるライブドローイングや学芸員による作品解説会も行われる。

[日程] 9月16日~12月19日
[会場] 群馬県立近代美術館

●さいたま市

埼玉県立近代美術館
〒330-0061 さいたま市浦和区常盤9-30-1
Tel. 048-824-0111 鳴原
<https://pref.spec.ed.jp/momas/>

イン・ピトウィーン

近年、収蔵作家となった早瀬龍江、ジョナス・メクス、林芳史に、ゲストアーティストとして潘逸舟を加えた4名に焦点を当て、4つの小個展が連なるように構成される展覧会。日常的な営みを起点に、絵画や版画、ドローイング、映像などそれぞれのメディアを用いた試みを重ね、他者との境界やアイデンティティについて思索を深める各作家の足跡を紹介。関連イベントとして、映像作品上映会、ワークショップなどを開催する。

[日程] 10月14日~1月28日
[会場] 埼玉県立近代美術館

●千葉県市原市

市原湖畔美術館
〒290-0554 市原市不入75-1
Tel. 0436-98-1525
<https://lsm-ichihara.jp/>

青木野枝 光の柱

鉄本来のもつ硬質感や重量感、そして彫刻の概念からも解放された作品をつくり続ける青木野枝が、市原湖畔美術館で最も特徴的な地下からの高さが9メートルに達する吹き抜けに、

新たな作品《光の柱》を制作。2011年から青木が制作してきた「ふりそそぐもの」シリーズを、展示室に差し込む外光を作品に取り入れつつ、地から昇り(上昇)、降り注ぐ(下降)を繰り返す動体へと展開するという新たな取り組みに挑む。

[日程] 10月14日~2024年1月14日
[会場] 市原湖畔美術館



青木野枝《光の柱 I》 撮影:本多康司
提供:市原湖畔美術館

●東京都世田谷区

せたがや文化財団
〒154-0004 世田谷区太子堂4-1-1 キャロットタワー5F
Tel. 03-5432-1535

<https://www.setagayamusic-pd.com/>

異分野とのコラボレーション 第17回 お話と音楽でつづる 「動物と音楽」

せたがや文化財団の音楽監督・池辺晋一郎の多方面に及ぶ豊富な知識や人脈を活用し、異分野との関係から広がる音楽のまた一味違った楽しみ方を提案するコンサート。17回目の今回はベストセラー『ざんねんないきもの事典』を監修した動物学者の今泉忠明氏を招き、「動物と音楽」をテーマに開催。波多野陸美(メゾ・ソプラノ)、鈴木大介(ギター)、飯野明日香(ピアノ)を迎え、ショパン『小犬のワルツ』など、音楽の中にもみる動物たちに焦点を当てる。

[日程] 12月9日
[会場] 烏山区民会館ホール

●東京都豊島区、川崎市

音楽大学オーケストラ・フェスティバル実行委員会
〒171-0021 豊島区西池袋1-8-1 (東京芸術劇場内)
Tel. 03-5391-2111 曾宮麻矢
<https://www.geigeki.jp/>

第14回音楽大学オーケストラ・フェスティバル2023

首都圏9つの音楽大学と2つの公共ホールが連携して行うフェスティバル。各大学の交流と協力を目的としてスタートし、今年で14回目。11月、12月に開催される秋の大学別公演では、学校ごとの演奏のほか、各校が作曲したファンファーレをエールとして共演校へ送りあう。さらに来年春には、各大学の選抜メンバーで結成した合唱付きオーケストラ公演を行い、若手演奏家の交流と育成を図る。

[日程・会場] 11月4日、12月17日: 東京芸術劇場コンサートホール / 11月26日、12月3日: ミューザ川崎シンフォニーホール

北陸・中部

●新潟県見附市

見附市文化ホール
〒954-0059 見附市昭和町2-1-1
Tel. 0258-63-5321 渡部桂子
<http://www2.city.mitsuke.niigata.jp/arcadia/index.html>

オリジナルミュージカル

『アツタ外伝』

ホール開館30周年を記念して、オリジナルミュージカルを制作。俳優・演出家の栗田芳宏が、見附市に伝わる民話「ヤマタノオロチと草薙の剣(草薙龍)」を題材として新たに創作した神代のアドベンチャーロマンストーリー。楽曲は作曲家・後藤丹により書き下ろされ、当日は室内楽団により生演奏で届けられるほか、バリトン歌手・鈴木至門や地元のダンサー、公募で集

まった36人の演者による公演をお届けする。

[日程] 12月23日、24日
[会場] 見附市文化ホール アルカディア



『アツタ外伝』稽古の様子

●富山県入善町

入善町文化振興財団
〒939-0626 下新川郡入善町入膳3200
Tel. 0765-72-1105 澤田誠
<https://www.town.nyuzen.toyama.jp/gyosei/cosmo/index.html>

入善町70周年記念演奏会

入善町合併70周年を記念して開催される特別コンサート。オーケストラ・アンサンブル金沢(山下一史指揮)と入善町出身の中瀬智哉(ピアノ)による協奏曲、森麻季(ソプラノ)、林美智子(メゾソプラノ)、錦織健(テノール)、大西宇宙(バリトン)と地域での公募により結成した70周年記念合唱団が共演してベートーヴェンの「第九」を披露する。公演前日には、出演者によるワークショップを開催。

[日程] 12月13日
[会場] 入善コスモホール

●静岡県藤枝市

藤枝市民会館
〒426-8722 藤枝市岡出山1-11-1
Tel. 054-643-3931 曾根国征
<https://fsk-hall.jp/>

金子三勇士 トーク&ピアノ名曲コンサート

国内外で幅広く活躍するピアニスト、金子三勇士によるトークを交えたコンサート。ショパン『革

命のエチュード』やドビュッシー『月の光』など、どこか聞き馴染みのある名曲の数々をお届け。『交響曲「第九」第4楽章～フロイデ!～』では、藤枝市オリジナルバージョンも演奏予定。

[日程] 2024年1月8日

[会場] 藤枝市民会館

●愛知県東海市

東海市芸術劇場

〒477-0031 東海市大田町下

浜田137

Tel. 0562-38-7030 黒田恵美子

<https://www.tokai-arts.jp/>

名フィル 0歳からのわくわくオーケストラ

2018年から続けて開催しており今回で7回目となる、0歳児から入場可能な“心のバリアフリー”コンサート。東海地方の音楽界をリードし続けるプロオーケストラ、名古屋フィルハーモニー交響楽団の本格的なサウンドと指揮者による解説で満喫できる60分間。開演前には、名フィル楽団員から指導を受けながら劇場で活動する東海市子どものオーケストラによるプレコンサートも行われる。

[日程] 2024年1月13日

[会場] 東海市芸術劇場

●愛知県豊田市

豊田市コンサートホール・能楽堂

〒471-0025 豊田市西町1-200

豊田参合館8F

Tel. 0565-35-8200 小平

<https://www.t-cn.gr.jp/>

か〜るクラシック♪お昼のコンサート第55回 輝&輝が贈る津軽三味線の魅力 in 能楽堂

「か〜るクラシック♪お昼のコンサート」は気軽に楽しめる60分のワンコインコンサートで、年6公演を開催。これまでクラシックに限らず、邦楽やJAZZなど、バラエティに富んだ演奏会を実施している。55回目の今回は、

それぞれが日本一の経験をもつ女性津軽三味線デュオ「輝&輝」が出演。異なる流派で培ってきた音色の違いも魅力で、伝統的なスタイルを大切にしながらもさまざまな音楽ジャンルを取り入れた新たな切り口の演奏に、三味線の可能性を感じられる演奏会。

[日程] 2024年1月11日

[会場] 豊田市能楽堂

近畿

●滋賀県守山市

守山市文化体育振興事業団

〒524-0051 守山市三宅町125

Tel. 077-583-2532 皆越実紀

<https://moriyamabuntai.com/wp/>

中山道守山宿 旅への誘いコンサートvol.17《花の歌Ⅱ》

京都からの旅人が最初に泊まる中山道67番目の宿場として栄えた守山の歴史や史跡、伝承にちなんだワンコインコンサートシリーズ。17回目の今回は、「もりやま 花めぐり」をテーマに瀧廉太郎『花』やシューベルト『野ばら』などクラシック音楽の名曲をお届けする。出演は船越亜弥(ソプラノ)、山際きみ佳(メゾソプラノ)、掛川歩美(ピアノ)。冒頭には、守山の花の名所も紹介される。

[日程] 12月3日

[会場] 守山市民ホール

●京都市

京都市京セラ美術館

〒606-8344 京都市左京区

岡崎円勝寺町124

Tel. 075-275-4271 吉峰拓

<https://kyotocity-kyocera.museum/>

ザ・トライアングル

山本雄教: 仮想の換金

(priceless museum)

2020年の京都市京セラ美術館(京都市美術館)リニューアルオープンに際して新設された展示スペース「ザ・トライアングル」で

は、京都ゆかりの作家を中心に新進作家を育むとともに、来場者が気軽に現代美術にふれる場となることを狙いとして企画展シリーズを開催している。今回は、日本画の研究を通して学んだ技法や素材を応用して作品制作を行う山本雄教が登場。一円硬貨を用いて制作した大型の新作含む7点を発表する。

[日程] 10月13日~2024年2月12日

[会場] 京都市京セラ美術館

●大阪府貝塚市

貝塚市文化振興事業団

〒597-0072 貝塚市島中1-18-1

Tel. 072-436-5031 高井亜由子

<https://cosmostheater.or.jp/>

レビュー「水」~葛城、近木川そして茅渚の海へ~

市政施行80周年、開館30周年を記念した“和楽器×ダンス×光”によるレビュー公演。若い才能が集結し、市の魅力を多くの人に伝えるとともに、地元で古くから伝わる伝説等を次世代に引き継ぐことを目指し、第1部では「祈り」をテーマにした和楽器とダンスの上演、第2部ではオリジナル曲を組み合わせた組曲『八大竜王伝説』が披露される。

[日程] 12月17日

[会場] コスモシアター(貝塚市民文化会館)

●神戸市

神戸市立小磯記念美術館

〒658-0032 神戸市東灘区向

洋町中5-7

Tel. 078-857-5880 多田羅珠希

<https://www.city.kobe.lg.jp/koiso-museum/>

「働く人びと 働かってなんだ?

日本戦後/現代の人間主義

(ヒューマンイズム)」

神戸市ゆかりの洋画家・小磯良平の生誕120年を記念した特別展。「働く人」を表現したさまざまな美術家の作品が展示さ

れるほか、小磯の画業最大の作品《働く人びと》が5年ぶりに展示される。終戦より今日に至るまでの美術家たちの多様な試みを紹介しつつ、画家の関心や社会状況を反映し、時に切々と、時にユーモアをもって表現された働く人の姿を通して、「働くとは何か」を問い直す。

[日程] 10月7日~12月17日

[会場] 神戸市立小磯記念美術館

●兵庫県芦屋市

芦屋市立美術館

〒659-0052 芦屋市伊勢町12-25

Tel. 0797-38-5432 大槻晃実

<https://ashiya-museum.jp/>

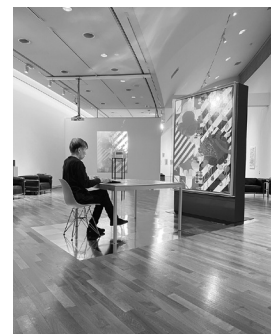
art resonance vol.01

時代の解凍

芦屋市立美術館のコレクション作品の可能性を探るため新たに始まった企画展。関西を拠点に国内外で活躍する4名の作家が、創作者の感覚的な視点でコレクションの中から7名の作家の作品を選び、その作家像と併せて作品をさまざまな方法で読み解き、新たな作品解釈とともにこれまで表には出ていなかった作家たちの個人史をも浮かび上がらせる試み。各作家の書籍や写真・映像資料などを閲覧できるアーカイブスペースも設置している。

[日程] 10月28日~2024年2月4日

[会場] 芦屋市立美術館



「時代の解凍」展示風景。右は山崎つる子《作品》(1964年/芦屋市立美術館蔵)

▼ 今月の情報

アーツセンター、アーツクルーから寄せられた情報を毎月掲載します

中国・四国

●鳥取県伯耆町

伯耆町立植田正治写真美術館
〒689-4107 西伯郡伯耆町須村353-3

Tel. 0859-39-8000 北瀬

<https://www.houki-town.jp/ueda/>

植田正治の春夏秋冬

生涯にわたり山陰の子どもたち、人や風土を被写体にしてきた植田正治。70年近くに及ぶ活動の中から、今回は「季節」に着目して展示を展開する。代表作である《パパとママとコドモたち》など、展示される写真はすべてモノクロームであり、色彩による季節感の主張はないが、春夏秋冬、折々のシンプルなイメージの数々をたどりながら、山陰の風と光の中で、植田が何を見て、何を感じ取ったかに思いを馳せる。

[日程] 9月16日～12月10日

[会場] 植田正治写真美術館

●広島市

広島市現代美術館

〒732-0815 広島市南区比治山公園1-1

Tel. 082-264-1121 笹野・松岡

<https://www.hiroshima-moca.jp/>

コレクション展2023-II

コレクション・ハイライト+コレクション・リレーションズ

それぞれの展示室に添えられたキーワードをテーマに収蔵作品を楽しむ「コレクション・ハイライト」と、展示内容をコレクションに限定しないコレクション展示の延長線上の企画「コレクション・リレーションズ」。今回のコレクション・リレーションズでは、東日本大震災をきっかけに活動を始めた、映像作家の小森はるかと画家・作家の瀬尾夏美の2人によるアートユニットの作品を展示する。

[日程] 11月25日～2024年4月7日

[会場] 広島市現代美術館

●愛媛県今治市

今治市玉川近代美術館

〒794-0102 今治市玉川町大野甲86-4

Tel. 0898-55-2738 藤原敏子

<https://www.city.imabari.ehime.jp/museum/tamagawa/>

かのうかりん 絵本原画&作品展 ～おまつりのおと～

今治市出身の実業家・徳生忠常が、「心温まる名画の美術館」として1986年に創立して寄贈した玉川近代美術館では、小粒ながら温かく、珠玉のような「庶民の美のやかた」として展覧会を企画している。本展は、今治市出身の絵本作家・かのうかりんの『おやすみ おやすみ みんな おやすみ』（金の星社）をはじめとする絵本原画と、自然や生き物をテーマにした絵画や彫刻などの作品の計277点を展示する。

[日程] 7月29日～12月3日

[会場] 今治市玉川近代美術館（徳生記念館）

●高知県高知市

高知県立美術館

〒781-8123 高知市高須353-2

Tel. 088-866-8000 奥野克仁

<https://moak.jp/>

高知県立美術館開館30周年

記念展「そして船は行く」

高知県立美術館の収集方針を元に集めた、絵画や高崎元尚など高知県ゆかりの作家の作品、シャガールコレクション、石元泰博の写真、表現主義および新表現主義的傾向のある作品などの中から130点を展示する過去最大のコレクション展。開館記念展「ark of ART 美術の方舟」から30年間の美術館（＝方舟）の航跡を、4つの展示室と県民ギャラリー、石元泰博展示室の館内すべてを使用して公開する。

[日程] 11月3日～12月3日

[会場] 高知県立美術館

九州・沖縄

●北九州市

北九州市芸術文化振興財団

〒805-0062 北九州市八幡東区平野1-1-1（響ホール内）

Tel. 093-663-6567 豊嶋祐三子

<http://www.kimfes.com/>

2023北九州国際音楽祭

1988年に市制25周年を記念して創設された音楽祭。有料プログラム、特別プログラム、教育プログラム、市民企画事業で構成され、国内外で活躍するアーティストの招聘、北九州オリジナル企画、若年者層を対象とした鑑賞事業、公募による市民参加コンサートなど、多彩なプログラムを展開。最終日はアレクサンドル・カントロフ（ピアノ）とズラトミール・ファン（チェロ）による、2019チャイコフスキー国際コンクール覇者同士のデュオコンサートを実施。

[日程] 10月14日～12月10日

[会場] 北九州市立響ホール、北九州ソレイユホールほか

●福岡県中間市

なかまハーモニーホール

〒809-0014 中間市蓮花寺3-7-1

Tel. 093-245-8000 高塚香奈江

<http://harmonyhall.or.jp/>

古賀千恵★65歳からの合唱講座♪ 受講生によるWinter Concert

65歳以上を対象に、6カ月間、月2回の合唱講座を開催し、成果発表する事業として毎年開催しており、今回で3年目。今年には24人が受講しており、講座講師の岩崎洋一の指揮、ピアニストの古賀千恵の演奏も交え、練習の成果を披露する。古賀千恵によるピアノリサイタル、受講生による合唱の2部構成でお届けする。

[日程] 12月17日

[会場] なかまハーモニーホール

●熊本市

熊本市現代美術館

〒860-0845 熊本市中央区上通町2-3

Tel. 096-278-7500 岩崎美千子

<https://www.camk.jp/exhibition/>

鳥山秀直展 絵画になる時間

「点」をすべての始まりと仮定し、小さな点を半透明のオーガジーの上に一つひとつ「置く」ことによって作品を制作しているアーティスト・鳥山秀直の個展。シンプルながら緻密で繊細な行為を繰り返し、途方もない時間によって生まれる鳥山の“絵画になる時間”を感じ取ることができる。

[日程] 10月12日～12月20日

[会場] 熊本市現代美術館

●沖縄県那覇市

沖縄県立博物館・美術館

〒900-0006 那覇市おもろまち3-1-1

Tel. 098-941-8200 大城さゆり

<https://okimu.jp/>

YUKEN TERUYA OKINAWA HEAVY POP 照屋勇賢 オキナワ・ヘヴィー・ポップ

沖縄に生まれ、現在はベルリンを拠点に活動している美術家・照屋勇賢の初期から最新作までを紹介し、その仕事の全体像に迫る地元沖縄では初となる大規模な個展。消耗品である紙袋が、本来の姿である「木」として立ち上がる《Notice Forest》をはじめ、日用品を用いて、普段は気づかない価値観や枠組みなどの問題を作品化する。紅型のシリーズをはじめ、沖縄をテーマとした作品を中心に約60点を展示。

[日程] 11月3日～2024年1月21日

[会場] 沖縄県立博物館・美術館

財団からのお知らせ

●「公共ホール現代ダンス活性化事業」 令和7・8年度登録アーティスト募集

この事業は、地域創造に登録されたコンテンポラリーダンスのアーティストを地域のホールに派遣し、地域交流プログラム(アウトリーチ、公募ワークショップ)や公演(市民参加作品、レパートリー作品)を実施するものです。令和7・8年度事業の実施に向けて、登録アーティストを募集します。

アーティストは、ホールが主体となって企画するダンス事業に対し、柔軟な発想によりコンテンポラリーダンスの魅力を最大限に引き出し、ホールと協働して地域やホールの特性を活かした事業をつくり上げます。

事業の趣旨にご賛同いただけるアーティストの方々からのご応募をお待ちしております。また、公立文化施設等の担当者の方々には、地域で活躍するアーティストをご紹介いただければ幸いです。

◎令和7・8年度登録アーティスト募集概要

[応募条件]

- ①コンテンポラリーダンスのアーティストとして活動し、自身が振付し出演する作品を発表した経験がある
- ②ソロまたはデュオで活動ができる
- ③幅広い層を対象としたアウトリーチや公募ワークショップを行った実績がある
- ④有料公演可能なレパートリー作品を持っている(小作品を複数でも可)
- ⑤公共ホール現代ダンス活性化事業のA・B・Cプログラム全てに対応できる

[募集要項] 募集要項および応募方法は当財団ホームページ(<https://www.jafra.or.jp/docs/11399.html>)をご確認ください。

[応募締切] 2024年1月24日(水)

[選考日程] 2024年3月5日(火)

(書類および映像資料による選考)

●令和6年度ステージラボ開催地のお知らせ

ステージラボは、公立文化施設等の職員を対象にした少人数形式の実践的な研修事業で、毎年、前・後期の2回(原則)開催しています。

令和6年度は、前期(2024年7月上旬)に八戸ポータルミュージアムはっち・八戸市美術館

(青森県八戸市)で2コースを実施、後期(2025年2月上旬)にフェニーチェ堺(大阪府堺市)で3コースを実施予定です。詳細は地域創造レターおよびホームページでお伝えします。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

●「特別寄稿 ビューポイント view point」について

地域創造ホームページ限定で、有識者やキーパーソンから文化芸術および公立文化施設等におけるチャレンジングな取り組みを寄稿していただくコーナー「特別寄稿 ビューポイント view point」。2020年9月からスタートし、これまで13名の方にご寄稿いただいています。

芸術分野のさまざまな領域で活躍する有識者・キーパーソンの方々の取り組みを、ぜひご覧ください。

<https://www.jafra.or.jp/library/other/6902.html>



◎これまでの寄稿一覧

寄稿者 ※敬称略、肩書は掲載時点	掲載日
北川フラム(アートフロントギャラリー主宰)	2020年9月17日
仲道郁代(ピアニスト)	2020年12月15日
田村緑(ピアニスト)	2021年3月12日
村田真宏(前 豊田市美術館 館長)	2021年4月1日
福井健策(骨董通り法律事務所 For the Arts 代表パートナー)	2021年7月6日
吉澤延隆(箏奏者)	2021年10月12日
田村一行(舞踏家・振付家)	2021年12月20日
平田オリザ(劇作家・演出家・青年団 主宰)	2022年3月28日
吉川由美(文化事業ディレクター・演出家)	2022年11月25日
熊倉純子(東京藝術大学大学院国際芸術創造研究科教授)	2023年1月31日
小岩秀太郎(公益社団法人全日本郷土芸能協会常務理事、縦糸横糸合同会社代表、東京鹿踊代表)	2023年3月27日
磯田憲一(安田侃彫刻美術館 アルテピアッツァ美咲 館長)	2023年6月15日
中村政人(アーティスト、東京藝術大学絵画科教授・副学長、東京ビエンナーレ総合ディレクター、3331ディレクター)	2023年9月23日

●「公共ホール現代ダンス活性化事業」
アーティスト募集に関する問い合わせ
芸術環境部 児島・田中
Tel. 03-5573-4077・4079
dankatsu@jafra.or.jp

●ステージラボに関する問い合わせ
芸術環境部 藤原・田之頭
Tel. 03-5573-4183

●「特別寄稿 ビューポイント view point」
に関する問い合わせ
芸術環境部 林
Tel. 03-5573-4093

▼財団からのお知らせ

地域創造からのお知らせを毎月掲載します

●令和5年度「公共ホール音楽活性化事業(おんかつ)」がスタート

クラシック音楽にふれる機会の少ない方や地域の方々にとって新たな発見や交流の場になることを目指し、工夫を凝らしたコンサートとアクティビティ(地域交流プログラム)を実施する「おんかつ」。令和5年度は、今年から一新した登録アーティストが全国15の地域に赴き、音楽を届けます。今号では、その中から名護市の模様をご紹介します。

名護市は、沖縄県の北部に位置する人口約6万4,000人の自然豊かなまちです。今回は、ソプラノ歌手の上田純子さんと共に、その豊かな「自然」と「音楽」の融合をテーマに、地域を大事にしている方々や未来を担う子どもたちに向けてアクティビティを実施しました。

嘉陽海岸のアクティビティでは、名護市の美しい日の出を眺めながら、ナポリ民謡でお馴染みの『オー・ソレ・ミオ』から始まり、上田さんと同じ宇都宮出身の童謡作家・野口雨情の『シャボン玉』と『七つの子』を演奏したほか、旧嘉陽小学校の校歌と一緒に歌いました。皆さんが懐かしみながら口ずさむ様子が印象的でした。後半では『ジャンニ・スキッキ』などを演奏し、オペラの魅力を存分にご紹介しました。

最終日のコンサートの1部では、かりゆし姿の上田さんが地元の三線奏者である宮城実咲さんと『童神』や『島人ぬ宝』を演奏し、観客の指笛や手拍子もあり、会場は一体感に包まれました。2部では、ドレスを纏って、『ラ・ボエーム』や『こうもり』などの有名なオペラを、観客を相手役に見立てた演奏や、翻訳をつけることでわかりやすく演

奏し、最後は上田さんが自身にとって思い入れの強いトスカより『歌に生き、愛に生き』を見事に歌い上げました。ご来場の皆様からは「また上田さんに来てほしい」「初めてのオペラだったが感動した」と大変嬉しいお言葉をいただきました。

今回は名護市の自然を活かすため、全て野外でのアクティビティとなりましたが、名護市民会館の皆さんの経験の豊富さもあって実現できたものであり、上田さんの市民の方々との交流も大切にしながらもオペラを伝える姿勢は揺るぎなく、また、その演奏も素晴らしいものでした。



上田純子さんによるアクティビティとコンサート(沖縄県名護市)

●令和5年度「公共ホール音楽活性化事業」参加団体(主会場/アーティスト/日程)

- 山梨県笛吹市(笛吹市スコレーセンター/開喜弦介/10月19日～21日)
- 長野県安曇野市(安曇野市穂高交流センター「みらい」/カメハ/10月20日～22日)
- 沖縄県名護市(名護市民会館/上田純子/10月20日～22日)
- 長野県須坂市(須坂市文化会館/Modétro Saxophone Ensemble/10月26日～28日)
- 三重県津市(津市久居アルスプラザ/Modétro Saxophone Ensemble/11月9日～11日)
- 兵庫県養父市(養父市立ビバホール/西村梧/11月15日～18日)
- 富山県氷見市(氷見市芸術館/カメハ/11月21日～23日)
- 秋田県能代市(能代市文化会館/カメハ/1月18日～20日)
- 岡山県久米南町(久米南町文化センター/Modétro Saxophone Ensemble/1月25日～27日)
- 岐阜県大野町(大野町総合市民センター/西村梧/2月2日～4日)
- 兵庫県市川町(市川町文化センター/今田篤/2月8日～10日)
- 山形県鶴岡市(荘銀タクト鶴岡/Modétro Saxophone Ensemble/2月21日～23日)
- 新潟県魚沼市(魚沼市小出郷文化会館/西村梧/2月21日～23日)
- 大阪府茨木市(茨木市市民総合センター/今田篤/2月21日～23日)
- 福岡県那珂川市(ミリカローデン那珂川/西村梧/3月21日～24日)

●「公共ホール音楽活性化事業」に関する問い合わせ

芸術環境部 矢嶋・森永
Tel. 03-5573-4064

●令和5年度市町村長特別セミナー「地域経営塾」終了報告

地域創造では、文化・芸術による地域づくりへの理解を深めていただくため、全国市町村国際文化研修所(JIAM)、総務省、内閣府との共催により「市町村長特別セミナー『地域経営塾』」を実施しています。今年は11月1日、2日の2日間にわたって開催され、1日目には文化・芸術によるまちづくりに関する講義と、おんかつ支援登録アーティストによるアウトリーチ体験(ミニコンサート)を実施しました。

有限会社アイデア 代表取締役の大月ヒロ子さんによる講義は、「廃材・端材が教えてくれる地域の文化・歴史・魅力」と題し、廃材・端材を活用した地域振興のあり方について考えました。事例紹介の中で、本来なら捨て

られてしまう多種多様な廃材を分類・整理することでそれを新たな「素材」に生まれ変わらせ、服やぬいぐるみ、おしゃれなインテリアへと変化させていました。またこの取り組みを老若男女の地域住民と一緒に行うことで、普段関わりの少ない年代との交流を生み、地域の賑わい創出の機会となっています。大月さんの廃材・端材を使ったさまざまな取り組みに、参加者は熱心に耳を傾けていました。

講義に続いて行われた、箏奏者の片岡リサさんによるアウトリーチ体験は、音の鳴る仕組みや、琴柱、奏法を軽快なトークとクイズを交えながらわかりやすく紹介しました。宮城道雄の『汽車ごっこ』では汽車の発着

の様子を箏の奏法を使って表現し、音で情景を感じる素敵なアウトリーチとなりました。最後の曲『アメージング・グレイス』では歌唱しながらの演奏で、会場全体が一体感に包まれました。



片岡リサさんによるアウトリーチ体験(ミニコンサート)

▼—今月のレポート

財団の支援事業や地域の創造活動に参考になる催しを取り上げてレポートします

岩手県

岩手県内5館・1団体による
連携事業

「Music Program IWATE 星巡りプロ ジェクト」



上:桜台小学校/下:水沢南小学校

●「Music Program IWATE 星巡りプロジェクト2023」概要

釜石市民ホールTETTO(9月27日、28日):
アウトリーチ3カ所(幼稚園、小学校)、クリ
ニック(中学校)、ピアノ解体ショー/大船渡
市民文化会館リアスホール(9月29日):
アウトリーチ2カ所(小学校)、クリニック(中
学校)/北上市文化交流センターさくらホ
ール(9月30日、10月6日、8日、9日):クリ
ニック2カ所(中学校、高校)、アウトリーチ2
カ所(小学校)、ホール公演/花巻市文化会館
(10月2日、3日):アウトリーチ2カ所(小
学校)/奥州市前沢ふれあいセンター(10月4
日):アウトリーチ2カ所(小学校)/NPO芸
術工房(10月9日):クリニック(中学校)

※出演者はプログラムによって編成が変わり、野尻小矢佳(Perc.)、新崎誠実(Pf.)、加藤直明(Tb.)を核に、研修を目的としていわ音アーティストの菊池葉子(Mez.)、牧野詩織(Fl.)が参加。核となるアーティストが2週間ほど岩手に滞在し、連携館の全体会議で各館の実施日程を調整。プログラム内容は参加館の個別の要望を踏まえながらアーティストが企画し、各館がアーティストと個別契約。

*1 北上、前沢、大船渡の連携をベースに県内の音楽家を育成する「いわでの演奏家とつくる音楽会」(いわ音)を2014年に立ち上げ。岩手県在住の演奏家または音大などの学生を対象に、外部専門家によるオーディションを行い、いわ音登録アーティストとして認定(1期2名、現在6名を登録)。

*2 おんかつOB館が中心となって近隣市町村のホールと連携して実施するおんかつ事業(現在は終了)。

9月25日から10月9日まで「Music Program IWATE 星巡りプロジェクト」(MPI)が行われた。これは岩手県内の公共ホールが連携し、アウトリーチを中心に参加館の要望を取り込みながら行う音楽プロジェクトだ。2022年度に4館でスタート。今年度は5館が参加し、中核となるプロ奏者、地域創造おんかつ支援登録アーティストでもある打楽器奏者の野尻小矢佳さんとピアニストの新崎誠実さんが約2週間、トロンボーン奏者の加藤直明さんが約1週間滞在して17会場・19事業を実施した。

● 10月3日に初参加の花巻市文化会館が行った桜台小学校でのアウトリーチ取材した。対象は小学4年生で、野尻さん、新崎さんに「いわ音登録アーティスト」(*1)の牧野詩織さん(フルート)が加わり、子どもたちの好奇心をそそる楽器を体感するワークショップとともにソロ、デュオ、トリオの演奏を披露。リハーサルでは野尻さんに牧野さんがアドバイスを求めるなど、演奏家同士が学び合う姿が印象的だった。

今年度から館長に就任した伊藤ケイ子さんの提案を受け、地元の花巻囃子を取り込んだワークショップも行われた。子どもたちは横笛(フルート)に合わせ、フレームドラムで独特のリズムを刻みながら楽しそうに輪踊り。「教職員が驚くほどの大盛り上がりで、今後こうしたアウトリーチを続けていければ」と館長。

MPIの最大の特徴は“ゆるふわ連携”にある。北上さくらホール企画事業課の千葉真弓さんは、「参加する館は規模も違えば、運営主体の法人格や自主事業の内容も予算の捻出の仕方も異なります。厳格な決め事をする連携が難しくなるので、無理なく、ゆるっとふわっとした連携で地域に音楽を届けるアウトリーチなどを拡充したいという思いで始めました」と話す。

発端は、2021年に沿岸部の釜石と大船渡の2館が連携し、野尻、新崎、加藤による演奏会とアウトリーチを行ったことだった。その演奏会に来た北上や前沢の事業担当者も加わり、「来年は4館で」という話になったという。「もともと個人的交流があり、2011年には大船渡、

北上、前沢で『おんかつ市町村連携モデル事業』(*2)も実施しています」と前沢ふれあいセンターの大内友規さんは振り返る。

そんな連携意欲の高まりを受け止めたのが、野尻たち演奏家だった。「連携モデル事業で、私は前沢、新崎さんは大船渡の担当でした。でも東日本大震災が起こった。事業はなんとか実施されたものの、二人ともおんかつアーティストとしては2年目の駆け出しで、地域と関わるとはどういうことなのかを真摯に考えさせられました」と野尻さん。そして、被災地への楽器の寄贈や修理、演奏など支援活動に取り組んだ。

このとき、現地情報の共有や現場で協力したのが、北上、前沢、大船渡の3館だった。「みんなにとって非常に濃い1年間でした。それが今の連携のベースになっています。私たちにあって岩手は第二の故郷です」(野尻)。そうした関係が結実したのが「MPI 4館巡りプロジェクト」(2022年9月7日~19日)だった。

MPIは地域の演奏家にとっても、アウトリーチ手法などを磨く機会になっている。前沢ふれあいセンターが実施した10月4日の水沢南小学校でのアウトリーチは、いわ音アーティストの研修も兼ねて実施されていた。プログラムづくりも行ったいわ音1期生の菊池葉子さん(メゾソプラノ)は、「登録アーティストとなって活動の幅が広がっています。今回は野尻さんたちと共演できただけでなく、プログラムづくりでも沢山の助言をいただき、とても勉強になりました」と話す。

加えて、MPIの特徴に“現場協働”が挙げられる。そもそもアウトリーチは収益事業ではなく、館も予算や人員を割きにくい。MPIでは、連携した館のスタッフが他館の事業にも駆けつけ、アーティストの送迎や舞台裏、表回りなどをサポートする。そうした互助的な手法でアウトリーチを持続的に展開できるような環境をつくっているのだ。こうした行政の垣根を越えた軽やかな連携の求心力となっているのは、ひとえに事業担当者や関わる演奏家たちの音楽によって地域社会をより良くしていきたいという思いに他ならない。その思いの共有を強く感じさせる取材だった。(田中健夫)